

桃1組保護者各位

黒野こども園



暦の上では立春となりましたが、まだまだ厳しい寒さが続いています。寒さから園庭に氷が張ることもあります。園庭のタイヤのくぼみを見て「タイヤの中に氷がある」と凍っているところを見つけて壊さないように氷を取り出して冷たさを感じたり、友達と氷を割ってかき氷に見立てると「何の味のかき氷がほしいですか?」とかき氷屋さんごっこをしたりしている子もいました。自然と関わりながらそれぞれ遊びを楽しんでいます。

2月初めには「みんなのはっぴょうかい」があります。それぞれのクラスが劇遊びに興味を持ち、友達と歌ったり踊ったりして楽しく遊んでいます。保育教諭も一緒に楽しみ、子ども達が表現する楽しさを感じられるよう見守りながら取り組んでいます。子ども達が伸び伸びと表現遊びをする姿を楽しみにしててください。



~今月のテーマ~

「正しい言葉を使って話す」

桃組も残りわずかになった今、子ども達は友達と一緒に遊んだり会話をしたりして楽しく過ごしています。毎日一緒にいる友達との距離も近くなり、保育教諭がいなくても子ども同士で話して遊びを楽しんでいます。しかし、最近は仲が良すぎることから友達を呼ぶときについ呼び捨てになってしまう子がいます。また、「やばい」「めっちゃ」等の言葉を使う子もあり、言葉遣いが気になります。青組に向けて「正しい言葉を使って話す」ことに取り組んでいきたいと思えます。まずは、友達と話すときに「〇〇くん」「〇〇ちゃん」と呼ぶように伝え、友達との関わりの中で正しい言葉で話せるように見守っていきます。呼び捨てをする子がいたらどうやって呼ぶといいか教えてあげるように声をかけて、クラスみんなで意識して声を掛け合う姿も見守ってきたいと思えます。

ご家庭でも正しい言葉で話しているか見守ってあげてください。

<子どもが安心して生活できるように保育教諭がすること>

- * 風邪やインフルエンザの流行期なので、気温・湿度・換気等に留意し、子ども達が元気に過ごせるように安全な環境づくりを心がけていきます。
- * 遊びの中で自分の思ったこと、考えたことを素直に出せるように保育教諭が温かく受け止め、互いが自分の意見を出し合える雰囲気作りをしていきます。
- * 保育教諭も一緒に鬼ごっこ、ボール遊び、縄跳びなどをしながら体を動かして遊ぶことを楽しめるようにしていきます。
- * 一緒に冬の自然現象に触れて遊びながら子ども達の気づきや発見を受け止め、遊びが広がるような用具や素材を準備して、自然の関わりを十分楽しめる様にしていきます。
- * 季節の行事の話をしたり絵本を読んだりして節分の意味を知り、怖いイメージを持たないで季節の行事に参加できるようにします。
- * 楽しい雰囲気の中で劇遊びができるように工夫し、表現する楽しさを感じられるようにします。

<子どもの遊びや教育的活動>

- * 手洗いやうがい、衣服の調整等の必要性を知り、自分で丁寧に行おうとします。
- * 友達と一緒に運動遊びやルールのある遊びを楽しみます。(縄跳び、鬼ごっこ、けいどろなど)
- * 雪や氷、つらら等の冬の自然現象に関心を持ち、それらに触れたりして遊びながら、不思議さや美しさを感じます。
- * 節分の由来を知って、日本の伝統文化に関心を持ちます。
- * 楽器遊びを楽しんだり、友達と声を合わせて歌う心地よさを味わいます。
- * 話の世界で遊ぶ楽しさやその役になりきる楽しさを味わいながら、友達と表現して劇遊びを楽しみます。

<お願いします>

- * ご家庭でも節分についての話をして、ご家族皆様でも楽しむ機会をお持ち下さい。
- * 爪が長い子がいます。遊ぶ時に大変危険ですし、衛生的にも良くありませんので、週に一度は点検をして切るようにしましょう。
- * 感染症が流行しています。お子さんの体調の変化には十分配慮して頂くようお願いいたします。咳、風邪等の症状が少しでもある時は早めの受診をお願いします。
- * 鼻水が出たら自分から進んでかむ事が出来るよう、ご家庭でも声をかけてあげてください。
- * なるべく自分でハンカチ・ティッシュをポケットに入れて登園準備をするように習慣づけてください。
- * 雪が降った日には、大いに戸外で雪遊びを楽しみたいと思います。積雪のある時には、着替えを持たせて下さい。また、着替え・着ている服、持ち物には必ず記名をお願いします。



『ヘンゼルとグレーテル』

劇遊びが始まり、とても楽しそうに歌を歌う子どもたちを見て振り付けも子どもたちと一緒に決めようと思いました。「悲しい歌だから泣いているようにしよう」「お菓子の家に向かって指をさしたら分かりやすいんじゃない?」「私は手をキラキラさせたい」など歌や自分の役のイメージに合わせていろいろなアイデアが出てきました。振り付けと一緒に考えることが恥ずかしくて様子を見ていた子も、大きな声で歌ったり、堂々と踊る友達を見て少しずつ興味を持っていったようです。自由遊び中に数人で歌を歌いながら踊りを楽しんだり、自然に歌をと口ずさんでいる子も増えてきました。セリフを言う場面でも恥ずかしくて最初は小さな声でしか言えなかった子も、同じ役の子とお互いに顔を見合わせ自信を持って言えるようになってきました。セリフに合わせた動きも同じ役の子同士で「これの方がかっこいいよ」など、話し合いながら決め、大きな動きの練習をしました。また、「今前に出るよ」「○○君こっちだよ」と教えてあげる姿も見られ、自分だけでなく友達のセリフや動きまで覚えてしまう子ばかりです。最初の頃はただセリフを言うことに精一杯の様子でしたが、「魔法使いはどんな顔で出てきたらいいかな?」「楽しいときはどんなお顔にする?」と問いかけると「怖い顔」「にこにこ笑顔」と教えてくれ、意識するようになりました。役になりきって堂々と演じる子どもたちの姿をご覧ください。

